

千葉県地域漁業復興プロジェクト

千葉県山武郡九十九里町

事業実施者：九十九里漁業協同組合

使用船舶名：

第七共成丸(14トン)、第八共成丸(14トン)、
第十五共成丸(19トン)、第十八新船長栄丸
(19トン)、第二十八共成丸(19トン)

支援期間：平成26年4月1日～平成29年3月31日

(中型まき網漁業)

(取組の内容)

● 操業形態の合理化：

7隻28名体制(網船2隻、運搬船3隻、運搬船兼探索船1隻、探索船1隻)から5隻25名体制
(網船2隻、運搬船2隻、運搬船兼探索船1隻)に移行

● 改革型2艘まき網漁船(14トン網船)の導入：

造波抵抗の少ない船型及び燃料見える化装置の導入

● 若手乗組員の確保：

若手乗組員2名の確保と定着

● 高付加価値化：

コンテナバックの導入及びこの漁獲物による加工品開発と直売所での鮮魚販売(「朝獲れイワシ」)



新船導入



コンテナバックの導入

(事業の成果)

● 5隻25名体制で支障なく操業可能であることが実証された。

● 改革型漁船の年間燃油消費量は平均57kℓで計画を18kℓ上回ったが、被代船(震災前)より**3kℓ削減**した。
10ノット航行時の燃料消費率は、被代船より**約30%削減**を達成した。

● 若手乗組員**2名を確保・定着**した。乗組員の平均年齢(48.5歳、H28.9月現在)は、計画(48歳)を概ね達成した。

● コンテナバックの水揚物は**鮮度も良く(K値は3.7~4.5)**、加工品の品質も良いと好評であった。単価は、**20%以上アップ**した。また、コンテナバックの使用によりカタクチイワシ(従来、加工原料主体)のスーパーでの鮮魚販売に道を開いた。